

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域特産物冷凍食品加工事業 ～伝えよう♪忘れがたきふるさとの味♪あちゃまおやき
事業主体 (連絡先)	中野市豊田農産物加工施設利用組合 中野市大字永江 2211-1
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 (8)その他の地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	2,055,000円

事業内容

平成27年春に北陸新幹線飯山駅開業により北信地域の観光客の増加が見込まれることも視野に入れ、♪忘れがたきふるさとの味♪あちゃまおやきを県内外に広く伝えるために、開通前の平成26年度中に、製造した商品の冷凍化、消費期限の延長、製造量、品質を確保できる体制に整えた。

- ・製造した商品を急速冷凍し冷凍食品化する凍結庫
- ・冷凍した商品及び使用する地元野菜を長期保存できる冷凍庫



【あちゃまおやき】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 支援金を活用し機材購入できたので、冷凍食品加工事業が整備され、販路拡大が進められるようになった。
- ② 食材の急速冷凍可能により、食品の衛生管理が徹底された。
- ③ 品質向上や製造量の増産や仕事の能率向上により、加工施設に従事する女性たちの生産・販売意識が高揚してきた。また、製造量が増産されたことで、新たに従事者を募集したところ、組合員の増員ができた。
- ④ 地場産物の使用増になり、地域の産業振興・地産地消推進に貢献できている。

【目標・ねらい】

- ① 販路拡大
- ② 地元学校給食提供による地産地消推進
- ③ 地域の女性の雇用改善
- ④ 地場産物の使用による産業振興

加工※自己評価【 B 】

【理由】

支援金活用内容が物品購入（ハード事業）なので、さらに明確な実施活用効果が見られるのはこれからであるため評価Bとしました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

冷凍食品加工事業が整備されたので今後ますます「食」を通した、ふるさと豊田の魅力を効果的に発信し、地域団体と連携しながら観光客等の誘客に力を入れていくとともに、その取り組みが地域経済と結びつくことを期待したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある